

令和7年度

**運営に関する計画
(中間評価)**

大阪市立三軒家西幼稚園

令和7年12月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 昨年度に引き続き、「今の子どもたち」に合った保育内容を試行錯誤しながら進めていくことの重要性を踏まえ、様々な人とかかわりを多くもてるよう異年齢児や地域の方との交流活動を実施したり、幼小連携を深めるため小学校との交流活動を今まで以上に実施する。
- 引き続き、子どもの安全を考えた防災、減災・安全教育に取り組んでいく。二次避難所でもある三軒家西小学校への避難訓練や、あらゆる時間帯や場所で臨機応変に対応できるよう無予告での訓練を積み重ねていきたい。また、減災の取り組みとして園児や保護者への啓発を実施する。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の保護者アンケートで、「子どもの安全を考えた防災、減災・安全教育を行っていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。
- 令和7年度の保護者アンケートで、「一人ひとりの子どもを大切にした教育を行っていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の保護者アンケートで、「自分の好きな遊びを見つけ、のびのびと遊ぶことを楽しんでいますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。
- 令和7年度の保護者アンケートで、「自分の体の健康への興味・関心をもち、基本的な生活習慣が身についていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度の保護者アンケートで、「身近な地域の人たちや小学校などとの交流に、興味・関心をもって参加していますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

- 今年度末の保護者アンケートで、「子どもの安全を考えた防災、減災・安全教育を行っていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。
- 今年度末の保護者アンケートで、「一人ひとりの子どもを大切にした教育を行っていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 今年度末の保護者アンケートで、「自分の好きな遊びを見つけ、のびのびと遊ぶことを楽しんでいますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。
- 今年度末の保護者アンケートで、「自分の体の健康への興味・関心をもち、基本的な生活習慣が身についていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 今年度末の保護者アンケートで、「身近な地域の人たちや小学校などとの交流に、興味・関心をもって参加していますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

--

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安心・安全な教育の推進】 1-1</p> <p>園の年度目標</p> <p>保護者アンケートで、「子どもの安全を考えた防災、減災・安全教育を行っていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>非常変災時に備えて避難訓練を実施し、子どもの安全意識を高める。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各安全計画を見直し、避難訓練を実施する。(年10回：通常8回、預かり2回) ・保護者と合同避難訓練、保護者への引き渡し訓練を実施し、減災について保護者への啓発を行う。(年3回) ・近隣の小学校と連携し、避難訓練を実施する。(年1回) 	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>【年度目標】 について</p> <p>○保護者アンケートで、「子どもの安全を考えた防災、減災・安全教育を行っていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答は93%であった。</p> <p>【取組内容】 について</p> <p>○予定通り避難訓練を実施した（通常6回、預かり1回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練実施前に様々な災害を想定し、計画案は安全な避難経路になっているか職員間で話し合い、より安全な避難経路を考え、迅速な避難へと繋がった。 ・防災教育として、「お・は・し・も・な」の約束や地震時の避難の姿勢、火災時はハンカチを口に当てるなど視覚物を用いて指導した。イラストで掲示したり、職員が実際に見本を見せたりすることで、子どもたちの理解が深まり、教師の指示を聞いて落ち着いて避難できるようになった。 ・去年は子どもたちの防災頭巾を担当が預かっていたが、今年は子どもの椅子につけて日頃は座布団として使い、非常時はすぐに防災頭巾を被ることができるようにした。 ・6月に不審者を想定し、避難訓練を実施したが、不審者対応について職員間で話し合い不審者を想定した避難訓練を1回増やした。子どもたちは、不審者を想定した避難の仕方を知ること、様々な非常時があることを知ることができた。 ・日頃から避難訓練を行っていたため、880万人避難訓練時の防災無線を聞き、事前に知らせていなかったが、各クラス避難をすることができた。いつもと違う防災無線を聞

き、子どもたちは津波の高さに気づいたり、近隣の小学校へ避難したりすることが分かり、放送の内容をよく聞く姿が見られた。

- 6月と11月に保護者への引き渡し訓練を2回実施した。6月には、不審者を想定し園での引き渡し、11月には、津波を想定し小学校での引き渡しを行った。職員間で連携し、引き渡しカードを手分けして、門で確認、その後各クラス担任が確認をすることで、より安全に保護者への引き渡しを行うことができた。
- ・減災教育として、保護者に向けて「減災のてびき」と「ぼうさい」の絵本より、「非常時の持ち出し袋を用意しているか」「非常持ち出し袋の中身」「災害が起きた時にどうするか話し合う」という内容で掲示物を作成した。降園時に保護者へ見てもらえたことで防災・減災について関心をもつきっかけとなった。

次学期への改善点

- 引き続き、様々な非常時を想定し、避難経路は安全か職員間で話し合いをしながら、より迅速な避難ができるようにする。
- 保護者と合同避難訓練を2月に実施予定である。
- 減災について保護者へ啓発のみでとどまっているため、啓発の仕方を工夫し、クイズをして保護者参加型にし、減災の大切さについて知らせていきたい。
- 三軒家西小学校と連携した避難訓練を1月に実施予定である。

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安心・安全な教育の推進】 1-2</p> <p>園の年度目標</p> <p>保護者アンケートで、「一人ひとりの子どもを大切にしたい教育を行っていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>身近な人に、親しみをもってあいさつをする。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの実態や変容を踏まえ、指導内容や具体的な指導方法について共通理解をする。(月1回) ・あいさつ週間を実施する。(年3回) 	B
<p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>身近な自然への興味や関心を高め、季節を感じられる遊びを存分に楽しむ。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見通しを持った教育をすすめる為に年間計画を立て、子どもが、遊びを通して季節を感じられる環境づくりを行う。(年4回 春夏秋冬) ・ふれあい野菜栽培を実施する。(年2回) 	B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>【年度目標】 について</p> <p>2学期末の保護者アンケートで「一人ひとりの子どもを大切にしたい教育を行っていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答が100%だった。</p> <p>【取組内容①】 について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもたちが親しみをもって挨拶をし、互いに関われるようになるために、登園の様子や、子ども同士の関わる姿を教職員が観察し、取り組みに繋げた。 ○あいさつ週間では、教職員が通用門に立ち、進んで挨拶をすることで、登園時に保護者と離れることが難しい子どもも安心して保育室に入るようになった。 ・5歳児と3・4歳児の保育室が離れているため、関わりがもてるように、登園時に5歳児が3・4歳児の保育室に行き、挨拶をした。また、全クラスと一緒に遊ぶ機会を1学期に多くもつことで、5歳児が3・4歳児に積極的に挨拶をする姿が見られるようになった。次第に、年齢に関係なく挨拶を交わすようになった。 <p>【取組内容②】 について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学期に2回以上、年間計画に沿って環境作りを行った。遊びを通して季節を感じられる環境作りに教師が常に目を向けることができた。 	

- ・自然物を使ったままごと遊びができるように、園庭に草花などを用意し、手に取れるようにした。花を飾れるようにオアシスやペットボトル、リボン等を用意したことで、さらに遊びが充実した。
 - ・遊びの用具を精選し、子どもたちが扱いやすい環境を整えた。色水遊びでは、初めは花の色の出し方が難しかった子どもも、花の種類によって色の出方が違うことに気付いたり、花の香を楽しんだりした。どろんこ遊びでは、全身で泥の感触を味わい、「ぬるぬるしている」「きもちいい」と、繰り返し感触を楽しんでいた。
 - ・プールでの水遊びでは、水鉄砲・ビート板・ボール・浮き輪などの遊具を用意した。水の感触を楽しみながら、浮力や水しぶきなど、水の特性に興味をもつきっかけとなった。
- ふれあい栽培を2回（夏野菜とサツマイモ、冬野菜）実施した。自分たちで苗を植え、水やりをしながら野菜の生長を観察した。毎日見ることで、小さな変化にも気付き、収穫する喜びを保護者と味わうことができた。
- ・1学期に、ヒマワリやフウセンカズラ、コスモスの種植えをした。3・4歳児は保育室の前から生長の様子を観察することができ、子どもが自らツルが伸びていく様子や芽が出る様子に気が付き、生長を喜ぶ姿が見られた。また、季節の野菜の収穫を通して、ソラマメの中にふわふわの白い綿があることや、キュウリの表面がとがっていることを、子どもたちが自分の手で触れて実感することができた。
 - ・サツマイモの収穫を全クラスで楽しんだ。収穫したサツマイモをみんなで数えたり、大きさを見せ合ったりした。収穫後はツルを使い様々な遊び方で存分に遊んだ。サツマイモを家庭に持ち帰り料理して食べたことを嬉しそうに教師に話す子どももいた。
 - ・小学校の校長先生から稲を頂き、栽培を5歳児が経験することができた。10月に稲刈りをし、ひと粒ずつ脱穀をしてお米をとりだす経験ができた。お米をつくることの大変さを実感することもできた。
- 草花や野菜の栽培方法や時期などについて教職員間で情報交換し、知識を高めることで、自然物の環境を整えることにつながった。

次学期への改善点

- ・次学期も教職員が門で挨拶を行い、気持ちのいい挨拶ができるよう継続していく。担任もできる限り園庭で出迎え、登園時の子どもの様子を見守る。
- ・引き続き、自然物の環境整備に教職員が全体で目を向けることができるように、教職員が意識をもつ。

大阪市立三軒家西幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】 2-1</p> <p>園の年度目標</p> <p>保護者アンケートで、「自分の好きな遊びを見つけ、のびのびと遊ぶことを楽しんでいますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向3 幼児教育の推進と質の向上】</p> <p>子どもが主体的に遊びを楽しめるような教師の教育的意図をもった働きかけや環境構成を工夫する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの実態把握をし、保育環境についての検討会を行う。(月1回) ・週案や行事計画の立案時に、就学前教育カリキュラムを活用し、教育的意図をもった働きかけや環境構成を工夫する。(月4回) 	B
<p>取組内容②【基本的な方向3 幼児教育の推進と質の向上】</p> <p>季節や時期に応じて、教師や友達と一緒に体を動かすことを楽しむ。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な場所で楽しみながら体を動かす機会をつくる。(月1回) ・教職員が季節や時期に応じた体を動かす遊びや体操等の教材研究を行い、職員間で共有する。(月1回) 	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>【年度目標】 について</p> <p>保護者アンケートで、「自分の好きな遊びを見つけ、のびのびと遊ぶことを楽しんでいますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答は93%であった。</p> <p>【取組内容①】 について</p> <p>○月1回以上、日々の職員朝会や保育後などに、教職員間で子どもについて実態把握を行い、その都度保育環境についての検討を行った。子どもの実態を共有したり、保育環境を検討したりすることで、教職員間で連携して保育を進めることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園内委員会を実施し、各クラスの子どもの実態を共通理解し、教職員が同じ方向性で援助するための教育的意図をもった働きかけについても検討することができた。 <p>○月4回、週案や保育案、各行事の計画案、保護者への配布物作成の際に、就学前教育カリキュラムを活用し、教育的意図をもった働きかけを明記した。就学前教育カリキュラムを用いることで、教師同士の意思疎通に繋がったり、保護者に保育のねらいを分かり</p>

やすく伝えたりすることができた。

- ・知・徳・体をバランスよく育むことができるよう、ねらいや教育的意図をもった働きかけ、環境構成などを工夫したことで、子どもが教師や友達と一緒に安心して遊ぶ姿や主体的に遊びを進める姿などが見られた。

【取組内容②】について

- 月1回以上、暑さや気候を考慮しながら、園庭や空調設備がある遊戯室、小学校の校庭、園外保育など様々な場所で体を動かす機会をつくることができた。また季節や時期に応じた体を動かす遊びや体操等の教材研究を行い、職員間で共有し、園全体で取り組むことができた。
- 運動会では、学年ごとに運動遊びに取り組み、遊ぶ中でのびのびと体を動かすことを楽しむことができた。
 - ・3歳児は、興味をもっていた恐竜になりきり、教師や友達と一緒に安心して、楽しむことができた。
 - ・4歳児は、親しみのある虫になりきって、友達や教師と遊びを楽しんだり、いろいろな運動遊びに挑戦したりすることを楽しむことができた。
 - ・5歳児は、いろいろな運動遊びに取り組む中で、継続して挑戦したり、友達同士で協力したりして遊びを進めることを楽しむことができた。

次学期への改善点

- ・引き続き、就学前教育カリキュラムを活用しながら、週案や保育案作成の際に、教育的意図をもった働きかけを明記し、教員の資質向上に努める。
- ・引き続き、三軒家西小学校の校庭をお借りして、体を存分に動かして遊ぶ機会を増やしていく。
- ・計画的に季節や時期に応じた体を動かす遊びや体操等ができるよう、クラスごとで取り組んだり、遊びの中で紹介し合ったりする機会を設ける。

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【未来を切り拓く学力・体力の向上】 2-2 園の年度目標 保護者アンケートで、「自分の体の健康への興味・関心をもち、基本的な生活習慣が身についていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【基本的な方向5 健康教育・食育の推進】 子どもが自分の健康や食に興味や関心をもち、基本的な生活習慣を身につける。	A
指標 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの実態に合わせた保健指導を実施する。(月1回) ・保護者の理解を深めるために、保護者向けの保健指導を実施する。(年3回) ・ほけんだよりや降園連絡等を活用し、保護者への啓発を行う。(月2回) 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析				
【年度目標】 について 1学期末の保護者アンケートで、「自分の体の健康への興味・関心をもち、基本的な生活習慣が身についていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答は89%であった。				
【取組内容①】 について ○子どもの実態に合わせた保健指導を月に1回行った。				
	4月	5月	6月	7月
3歳児	手洗い	トイレの使い方	熱中症	夏休みの過ごし方
4歳児	手洗い	うがい	熱中症 プライベートパーツ	夏休みの過ごし方
5歳児	手洗い	3色食品	熱中症 プライベートパーツ	夏休みの過ごし方
	9月	10月	11月	12月
3歳児	けがの予防	目の大切さ	姿勢	手洗い・うがい
4歳児	けがの予防	目の大切さ	友達の気持ち	手洗い・うがい
5歳児	けがの予防	目の大切さ	咳エチケット	手洗い・うがい

○けがの予防

- ・ 3歳児は、けがをした後の行動について①先生に伝える②痛い所を伝える③何でけがしたのか伝える、を目の前で実践し、口に出して繰り返し言うことで、けがした後すぐに担任の先生に伝えに行く姿が見られた。
 - ・ 4歳児は、どうしたらけがをしないか視覚物や写真（遊び場所や部屋の中など）を用いて伝えることで、普段の遊びや生活と結びつきやすくなり、意識して安全に活動する姿が見られた。
 - ・ 5歳児は、自分でもできる応急処置について指導することでけがをした際に担任に伝えただ後、自分で患部を洗浄する姿が見られた。患部を土などで汚したままにせず、自らを清潔にする力が身につけてきたと感じた。
- 3歳児の姿勢の指導では、視覚物を作成することで子どもの目にとまりやすく、椅子に座る際に背中を伸ばす様子が見られた。また、実際に背中を伸ばして歩く指導を取り入れたことで子どもの興味を引くことができた。
- 3歳児の目の大切さの指導では、手作りの眼鏡（2mリボン付き）を作成し、指導後に家庭に持ち帰ったことで、家庭でもテレビを見る時の適切な距離について理解を深めることができた。
- 4歳児の友達の気持ちを考える指導では、人それぞれ言われて嬉しい、悲しい言葉が異なることを“こころの色カード”を用いて、見えない気持ちを視覚的に分かりやすくした。子どもたちからは「ありがとう」「いいよ」という言葉も増え、自分の気持ちを相手に伝えようとする姿も見られた。
- 5歳児の咳エチケットの指導では、咳やくしゃみが出る時の対応について伝えると、手ではなく肘の内側で押さえる姿やマスクの着用をする姿が見られた。また、咳が出た時に子どもたち同士で、肘で押さえることを伝え合う姿も見られた。

○保護者の理解を深めるために、保護者向けの保健指導を1学期に1回行った。

実施日	場合	テーマ	内容
7月17日	1学期終業式	夏休みの過ごし方	教員の寸劇
9月10日	歯磨き指導	歯の磨き方	歯科衛生士さん講演
12月23日	2学期終業式	年末年始の過ごし方	パワーポイント

○ほけんだよりや降園連絡等を活用し、保護者への啓発を月に2回行った。

- ・ ほけんだよりでは、実施した保健指導の内容を掲載し、降園連絡での啓発も行った。
- ・ 預かり保育の保護者にも啓発が行えるように、玄関に保健指導内容を掲示する。
- ・ ホームページに保健指導の様子も掲載し、園での取り組みについて周知した。
- ・ 1学期に引き続き、指導時の写真や吹き出し形式で子どもの様子を伝える工夫を継続したことで、保護者が家庭で取り組みやすい内容を意識して発信することができた。

次学期への改善点

- ・ 小学校の進学に向けて、年長対象に「友達の気持ちを考えよう」の保健指導を2月に実施する。
- ・ 3歳児への保健指導が長すぎることから、集中力がなくなったり、大切な言葉が残りにくくなったりした。そのため、指導時間の目安を15分以内にし、体を動かせるような保健指導を行う。
- ・ 今後も個々の実態に合わせ、担任と連携しながら日々の保育につながる保健指導を行っていく。
- ・ 保健指導の成果が日常生活にもつながるよう、家庭と連携できる取り組みを行っていく。その1つとして、保健指導のまとめクイズを保護者参加型で実施する。

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 3-1 園の年度目標 保護者アンケートで、「身近な地域の人たちや小学校などとの交流に、興味・関心をもって参加していますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】 身近な地域の人たちや保育所・こども園・小学校、未就園児との交流活動を存分に楽しむ。	B
指標 ・地域や学校園所と連携しながら、交流活動を実施する。(年3回) ・未就園児交流活動(なかよしランド)を実施する。(年10回) ・教育活動についてホームページや降園連絡を通じて広く知らせる。(週2回)	
取組内容②【基本的な方向8 生涯学習の支援】 絵本やお話にふれ、子どもたちの心を豊かに育てる。	B
指標 ・地域のボランティアによる絵本の読み聞かせの会を実施する。(年2回) ・様々な絵本に触れられるように、絵本貸し出しを行う。(月3回)	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
【年度目標について】 保護者アンケートで、「身近な地域の人たちや小学校などとの交流に、興味・関心をもって参加していますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を86%であった。
【取組内容①】について ○近隣小学校では、給食時間に校庭で遊ばせていただき、広い校庭を走ったり遊具で遊んだりすることを楽しんだ。また、小学校の職員の方がいつも声をかけてくださるので、小学校の先生に親しみをもっている。7月には小学校の校長先生から稲をいただき、稲の栽培を5歳児が体験することができた。 ・近隣のこども園と、11月までに3回交流をした。幼稚園で2回、岩崎橋公園でも1回一緒に遊んだ。回を重ねるごとに親しみをもって関わるようになってきている。 ○未就園児交流活動(なかよしランド)を11月末までに、10回行った。未就園児と活動する時に、自分より年下の友達に遊具を渡したり、未就園児が帰る時に見送りながらハイタッチしたりして、関わりがもてるようになってきた。

- ・ 9月から「たんぼぼクラブ」を開始した。2学期からの実施ということもあり、すぐに幼稚園に慣れ、毎回楽しみにしていると保護者からの声があった。
- 週に1回以上、教育活動や保育の様子についてホームページにあげた。降園連絡では毎日その日の子どもたちの様子について担任から連絡をし、保護者に日々の様子が分かりやすいように努めた。

【取組内容②】について

- 学期ごとに1回ずつ、絵本の会大正の方による絵本の読み聞かせの会を行った。パペットやエプロンシアター、大型絵本を用いて読み聞かせをしていただき、いろいろな話に興味をもつきっかけとなった。
- 絵本貸し出しを週1回行った。絵本貸し出しの回数を増やしたことで、子どもが絵本に親しむ機会が増えた。

次学期への改善点

- ・ 3学期にも、小学校や近隣保育園との交流を行い、同じ地域での関わりが深まる取り組みを進める。
- ・ 保護者への伝え方について、園生活の楽しさがより伝わるような方法を工夫していく。
- ・ 未就園児交流活動の中で、さらにふれあいができる活動内容を工夫していく。
- ・ 新しい絵本が手に取りやすいよう、絵本の並べ方を改善する。